

# 未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

## 「理科室のおじさん」を尋ねて

### その1 日立市立中里小学校

日立理科クラブ・清末 武さん



中里小学校の理科室には、「水ロケット大会」の戦勝品のように水ロケットがたくさん飾られています。中里小では、水ロケットクラブが昨年度でき、今年度は中里小サイエンスクラブとして立ち上げ、水ロケットやソーラーカーの製作などを放課後に行っています。毎回、水ロケット大会に多数参加し見事な成績を残してきました。水ロケットの改良に対するアイデアを子どもたちが積極的に出し、試行錯誤して製作してきたそうです。

日立理科クラブの「理科室のおじさん」科学大好きエキスパートの清末武さんによれば、「最初は、本当に数十メートル

飛ぶのが精一杯だったのが、大会を重ねるごとに、安定した記録が出てきました。何よりも、子どもたちのちょっとした工夫やアイデアを取り入れて製作しているので、子どもたちの興味・関心が増し、とても熱心に取り組んでいます。」と、笑顔を浮かべて話してくれました。

昨年、4年の理科の授業で使った水ロケットをどんどん改良を加え、現在の型になってきたそうです。

ソーラーカーは、当初小さな車で実験等を行っていたのが、「おじさん、私たちが乗れるソーラーカーはできないですか。」という子どもたちの要望で、人が乗れるソーラーカーを作成したそうです。現在では3台のソーラーカーが出来上がっているというから驚きです。

このソーラーカーを、11月28日（日）に実施する「青少年のための科学の祭典・日立大会」で披露する予定です。日立新都市広場で実際に運転をしますので、ぜひ興味のある方は参加してみてください。

大会に出た水ロケット

